

株主通信

FUJIFILM NEWS

December 2022 **Vol.107**



証券コード：4901

**NEVER
STOP**

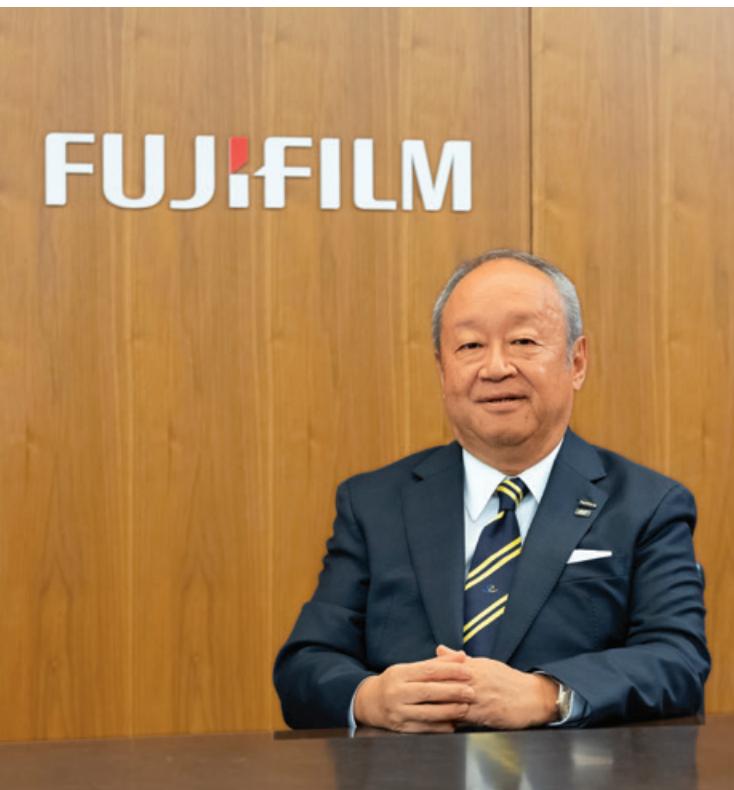
株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2022年度上期の当社業績は、売上高1兆3,499億円(前年同期比12.0%増)、営業利益1,208億円(前年同期比12.0%増)の増収増益、当社株主帰属四半期純利益は952億円となりました。営業利益については上期として過去最高益を達成いたしました。

株主還元について、2022年度中間期の配当金は、1株当たり60円といたしました。期末配当金も同様に1株当たり60円、年間配当金は13期連続増配となる1株当たり120円の予定です。

現在企業は、地政学的リスク、各国金融政策に対し高まる懸念、環境・エネルギー問題等、対処すべきさまざまな課題に直面しています。このような先行き不透明な経営環境において、重要なのは「稼げる力」です。「付加価値の高い製品・サービスで継続的に価値を提供するビジネスモデルを作り上げて、生み出した利益を将来のために再投資し、結果を出し続ける」というサイクルを回すことが「稼げる力」の根源であり、社会への貢献と株主の皆様や従業員をはじめとするステークホルダーへの



代表取締役社長・CEO

後藤 禎一

十分な還元を可能とするものです。

どのような環境下でも企業としての成長と社会の持続的な発展への貢献を両立させるため、当社はヘルスケアや高機能材料の成長分野を中心に積極的な投資を続け、「稼げる力」のさらなる向上に取り組んでいます。ヘルスケアでは、バイオCDMO事業のデンマーク拠点と米国テキサス拠点で、抗体医薬品の生産能力増強のための大型設備投資を決定しました。また、富士フイルム富山化学が、当社国内初となるバイオ医薬品の開発・製造受託拠点を新設します。この拠点では、平時にはバイオ医薬品の製造、パンデミック時にはmRNAワクチン・遺伝子組換えタンパクワクチンの製造に切り替え可能な設備を導入します。高機能材料については、半導体やその関連メーカーが多く集まる九州に電子材料事業の生産設備を新設し、半導体製造プロセスの基幹材料をお客さまに迅速に供給できる体制を整えます。

また、ヘルスケアを重点事業と位置付ける企業として、デジタル技術の活用によって、医療格差のない社会の実現にも貢献していきます。その取り組みの一例である、がん検診を中心とした健康診断センター「NURA(ニューラ)」の新拠点を、インドのベンガルールに続きグルグラムにオープンしました。

「NURA」は、がんの早期発見・治療を実現するため新興国での健診サービスを普及させたいと考え、私が社長就任前から立ち上げに携わってきたプロジェクトです。さらに、第8回アフリカ開発会議「TICAD8」の公式サイドイベント「Global Health Action Japan」で、結核のスクリーニング検査をはじめとする医療の質とアクセスの向上を目指す当社の取り組みを紹介しました。現在、世界中で実施される結核検診の検査から投薬治療までのデータをクラウド上で一元管理するソフトウェアを開発中であり、それらの状況をリアルタイムで見える化することで結核対策へのさらなる貢献が可能になると考えています。

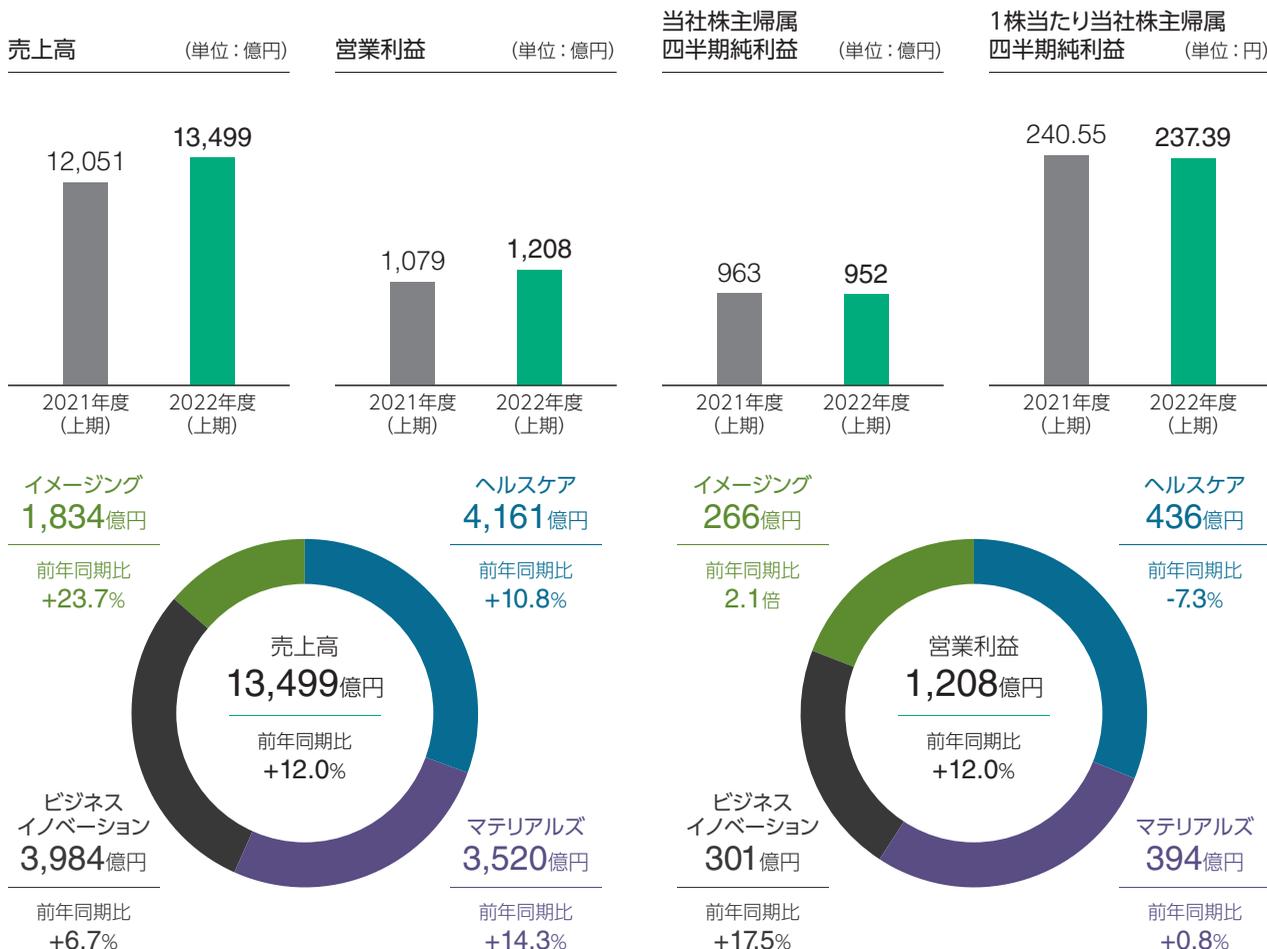
当社は、引き続き付加価値の高い製品・サービスを通じて、世界の医療の発展やサステナブル社会の実現に貢献するため、新たな価値を提供し続け、社会にとってなくてはならない、存在価値のある企業であり続けます。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年12月

2022年度上期 決算ハイライト

売上高は、メディカルシステムや電子材料、イメージングの販売好調や、為替の円安影響などにより、前年同期比12.0%増、営業利益は、部材・エネルギーコストの高騰影響などがある中でも、増収に伴う増益で前年同期比12.0%増となり、上期過去最高益を達成しました。当社株主帰属四半期純利益は、前年に投資会社上場による投資有価証券の評価益計上などがあったため、上期は前年同期比1.1%減となりました。



(注) 2022年度上期の営業利益1,208億円はセグメント別営業利益及び全社費用・セグメント間取引消去(-189億円)の合計となります。

詳細な財務情報は、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。
アドレスはこちら > <https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>



ヘルスケア

メディカルシステム
バイオCDMO
LSソリューション
(ライフサイエンス、医薬品、
コンシューマーヘルスケア)



超軽量移動型
デジタルX線撮影装置
[FUJIFILM DR
CALNEO AQRO]



マルチスライス
CTシステム
[SCENARIO View Plus]

メディカルシステムは、医療IT、内視鏡、IVD(体外診断)、CT・MRIなどを中心に販売が好調。

バイオCDMOは、バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移。LSソリューションは、バイオ医薬品製造用途の培地のコロナ関連特需一巡や放射性医薬品の事業譲渡などにより増収。

マテリアルズ

電子材料
ディスプレイ材料
他高機能材料
(産業機材、ファインケミカル、記録メディア)
グラフィックコミュニケーション
(グラフィックコミュニケーション、
インクジェット)



高速ロール紙カラーインクジェットプリンター
[Jet Press 1160CF]

電子材料は、CMPスラリーやフォトリソ周辺材料などの販売が好調。ディスプレイ材料は、前年のモニター、タブレット及びTV向け需要増の反動や、サプライチェーン全体での生産調整を受け減収。グラフィックコミュニケーションは、刷版材料分野での販売価格見直しやデジタル印刷分野におけるプロダクションプリンターの欧米市況の回復などにより増収。

ビジネスイノベーション

オフィスソリューション
ビジネスソリューション



デジタルカラー複合機
[Apeos C8180]

オフィスソリューションは、中国ロックダウンの影響を受けたものの、製品供給は順調に回復し、欧米向け輸出を中心に複合機・プリンター及び消耗品の売上が増加。ビジネスソリューションは、国内での大型案件獲得やソリューション・サービスの販売増に加え、海外でのBPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)事業が好調に推移。

イメージング

コンシューマーイメージング
プロフェッショナルイメージング



インスタントカメラ
“チェキ”
[INSTAX mini Evo]



ミラーレス
デジタルカメラ
[FUJIFILM X-H2S]

コンシューマーイメージングは、インスタントカメラ“チェキ”の最上位機種[INSTAX mini Evo]やスマホプリンターを中心に、インスタントフォトシステムの販売が好調に推移。プロフェッショナルイメージングは、デジタルカメラの新製品[FUJIFILM X-H2S]、[FUJIFILM X-H2]のダブルフラッグシップモデルがけん引し増収。

事業を通じて世界の人々の健康増進に貢献する

当社は、企業理念の中で「健康増進に貢献し、人々の生活の質のさらなる向上に寄与する」ことを掲げています。この理念を実現するための、2030年をターゲットとした長期CSR計画「Sustainable Value Plan 2030(SVP2030)」では、「健康」を重点分野の一つに定め、ヘルスケア事業を通じて、世界の人々の健康を増進させることに取り組んでいます。当社が持つ技術、製品、サービスを結集し、医療の格差解消や医療アクセスの向上、疾病予防や早期発見による医療費高騰抑制などへの貢献を目指しています。

新興国における健診サービス事業

富士フィルムは、インドに健診センター「NURA(ニューラ)」を開設し、健診サービス事業を展開しています。2021年に開設したベンガルールに続き、2022年7月には首都デリー近郊に位置するグルگرامに開設、さらに12月にインド最大の都市ムンバイに開設予定で、計3拠点となります。

がん罹患者の5年生存率は、日本では約7割であるのに対し、インドでは約3割と言われています*1。インドでの同生存率が低い要因の一つとして、がん検診などの健診サービスが日本ほど普及しておらず、がんの早期発見・治療を実現できていないことがあげられています。

「NURA」では、当社の高精細な診断画像を提供するCT・マンモグラフィーなどのさまざまな医療機器や、AI技術を活用して医師の診断を支援する医療ITシステムを導入し、日本式の高品質な健診サービスを提供しています。約120分ですべての検査が完了し、健診終了後にその場で医師から健診結果に関する説明が受けられる利便性から、20代～80代の幅広い年齢層に受け入れられ、2022年9月末までに約4,500名の方にご利用いただきました。さらに、「NURA」の取り組みは、デジタル技術を活用し新興国の社会課題解決に貢献する活動として評価され、日本の経済産業省から「アジアDX促進事業」に採択されました。



NURAグルگرام拠点

世界の保健医療水準を高めるための結核対策への取り組み

富士フィルムは、2022年8月中旬に、第8回アフリカ開発会議「TICAD8」の公式サイドイベント「Global Health Action Japan～世界の保健医療水準を高めるための日本企業の活動～」に参加しました。開発途上国では依然として死亡者数が多い結核への対策として、診断機器が不足している地域に当社の携帯型X線撮影装置「FDR Xair」やAI技術を活用した診断支援のソフトウェアを展開することで、結核のスクリーニング検査をはじめとする医療の質とアクセスの向上を目指す当社の取り組みを紹介しました。さらに、現在、世界中で実施される結核検診の検査から投薬治療までのデータをクラウド上で一元管理するソフトウェアを開発中であり、世界各地の結核対策の状況をリアルタイムで見える化することで、さらなる貢献が可能になることを説明しました。特別ゲストのビル&メリンダ・ゲイツ財団共同議長のビル・ゲイツ氏から、当社の取り組みの革新性が高く評価され、パートナーとして連携を強化していくことへの期待が寄せられました。



携帯型X線撮影装置
「FDR Xair(エックスエアー)」

健康経営®の推進

当社は、従業員の健康維持増進を重要な経営課題と捉えて「富士フィルムグループ健康経営宣言」を制定し、健康経営®**2を推進しています。生活習慣病・がん・喫煙・メンタルヘルス・長時間労働の領域別に数値目標を設定し、特に国内のグループ従業員のがん検診(肺・胃・大腸・乳房・子宮頸)については、受診率90%以上を目指して改善を進めています。従業員の健康維持増進への取り組みが評価され、当社は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」に2年連続で選ばれました。

2022年5月に、富士フィルムグループ健康保険組合が、富士フィルムビジネスイノベーションみなとみらい事業所内に開設した健診施設「富士フィルムメディテラスよこはま」での健康診断をスタートしました。従業員は富士フィルムグループの最新医療機器や、AI技術を活用した医療ITシステムによる高品質な健康診断を受けることができます。がんを早期に発見し、在職中ががんが原因で亡くなる従業員を出さないという強い思いを持ち、今後も対策を進めていきます。



自然光を取り入れた「富士フィルムメディテラスよこはま」エントランスの様子



富士フィルムグループ トピックス

当社国内初のバイオCDMO^{*1}拠点を新設

富士フィルムは、ライフサイエンス領域の事業成長を加速させるため、当社国内初のバイオCDMO拠点を富山県富山市に新設することを決定しました。今回の富士フィルム富山化学の設備投資により新設する新拠点は、経済産業省が推進する「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に採択されています。本拠点には、平時は顧客ニーズに応じたバイオ医薬品を製造し、パンデミック時にはワクチン製造へ切り替えられるデュアルユース設備を導入し、2026年度の稼働を予定しています。これまで培ってきた高度なバイオ医薬品のプロセス開発・製造受託サービスを製薬企業に提供し、事業成長を加速させていきます。また、パンデミック時には日本政府が主導する、ワクチンの国内生産体制強化の一翼を担い、日本国民の健康保持に貢献していきます。

※1 Contract Development & Manufacturing Organizationの略。生産プロセス開発や安定性試験、治験薬の開発・製造、市販薬の製造まで幅広いサービスを製薬企業などに提供する。

幅広い事業分野で国内外のデザイン賞を受賞

富士フィルムは、あらゆる製品・サービスの開発において、優れた機能や高い性能を追求するとともに、その機能・性能を最大限に生かすデザイン開発に取り組んでいます。

このたび、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2022年度「グッドデザイン賞^{*2}」において、ミラーレスデジタルカメラや医療機器・サービスなど、幅広い事業分野の19製品が「グッドデザイン賞」を受賞しました。各製品の美しい外観のみならず、優れた性能や快適な操作性を実現するデザインなどに対する高い評価により、2019年から4年続けて受賞対象者の中で最多受賞を達成しました。

また、世界三大デザイン賞においては、「iFデザイン賞」で過去最高の受賞数を記録し、「レッドドット・デザイン賞」ではプロダクトデザインとブランズ&コミュニケーションデザインの両部門で最高賞、「IDEA (International Design Excellence Award) 賞」ではシルバー賞を受賞しました。当社製品のデザインに対する評価は、国内外でますます高まっています。



※2 1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」を母体とし、1988年より財団法人日本産業デザイン振興会(現公益財団法人日本デザイン振興会)の主催事業として運営される日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度。

中国の複合機リサイクル拠点でカーボンニュートラルを実現

富士フイルムエコマニュファクチャリング(蘇州)は、複合機のリサイクル拠点として、中国国内の使用済み複合機やトナーカートリッジなどの再生・再資源化を行っています。2022年7月より、すべての使用電力を100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、カーボンニュートラル工場としての操業を開始しました。拠点内に約8,000㎡の太陽光発電パネルを新たに設置し、使用電力の約90%を賄うことに加えて、再生可能エネルギー証書*3が適用された電力を購入しています。再生可能エネルギー由来の電力を使って再生・再資源化を行う、環境に配慮したリサイクル拠点として、循環型社会の実現に貢献していきます。

*3 再生可能エネルギーによって発電された電気の「環境価値」を証書化したもの。



太陽光発電パネルを設置した
富士フイルムエコマニュファクチャリング(蘇州)の工場

統合報告書2022を発行

当社は、2030年度をターゲットとする長期CSR計画「Sustainable Value Plan 2030 (SVP2030)」において、「環境」「健康」「生活」「働き方」の4つの重点分野ごとに目標を定め、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。今回の統合報告書では、富士フイルムグループを支える“イノベーション”を軸にした価値創造ストーリーを通して、「SVP2030」で当社が目指す姿や、「SVP2030」の具体的なアクションプランとしての中期経営計画「VISION2023」の進捗などについて説明しています。また、社外のパートナー企業・団体との価値共創を通じた重点分野での取り組み事例を、特集で紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>



富士フィルムグループ トピックス

スマホプリンター“チェキ”INSTAX Linkシリーズ 新たに2機種を展開

スマホの画像をその場で簡単にチェキフィルムにプリントできるスマホプリンターで、専用アプリを組み合わせユニークな機能を搭載した2機種を新たに展開しています。「INSTAX mini Link 2」は、専用アプリを用い、スマホで撮影する際にAR(拡張現実)エフェクトを重ね合わせて空間に絵や文字を描く機能を搭載しました。「INSTAX SQUARE Link」は、スクエアフォーマット対応のプリンターで、「INSTAX SQUARE Link」で出力したチェキプリントをARエフェクトで彩る機能や、スマホの画像にチャットのメッセージを重ね合わせてプリントできる機能があり、離れた相手とも距離を感じず、リアルな繋がりを楽しむことができます。



「INSTAX mini Link 2」
2022年度
グッドデザイン賞受賞

「INSTAX
SQUARE Link」

ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-H2S」「FUJIFILM X-H2」新発売

約2616万画素の裏面照射積層型CMOSセンサーを搭載し、スピードと機動性に優れ、動体撮影に最適の「FUJIFILM X-H2S」、約4020万画素の裏面照射型CMOSセンサーを搭載し、圧倒的な解像力を生かした風景やポートレートなどの写真撮影に加え、高精細な8K映像撮影が可能な「FUJIFILM X-H2」を発売しました。これら新開発のセンサー・高速画像処理エンジン「X-Processor 5」を搭載したダブルフラッグシップモデルの展開で、写真愛好家からプロ写真家、映像クリエイターなど幅広い層のニーズに応えます。



「FUJIFILM X-H2S」 「FUJIFILM X-H2」
2022年度グッドデザイン賞受賞

ASTALIFT THE SERUM(アスタリフト ザ セラム)誕生

ブランド誕生15周年を迎えたASTALIFTから高機能美容液シリーズ「ASTALIFT THE SERUM(アスタリフト ザ セラム)」が誕生しました。化粧品向けに開発した独自の浸透型リポソーム^{*1}を活用し、美容成分を肌の必要なところに届けます^{*2}。

アスタリフト ザ セラム マルチチューンはハリ・美白^{*3}ケア、シワ改善を目的とした薬用多機能美容液です。

医薬部外品
販売名：A L E
薬用エッセンスa



アスタリフト ザ セラム リングルリペアは薬用シワ改善美容液で、朝用、夜用の2タイプで構成されています。

朝は塗りやすいスティック型

肌の上でみずみずしく伸びるスティックタイプの美容液。UVカット機能を持ち、ひと塗りで手軽にケア。

医薬部外品
販売名：A L E
デイエッセンスd



夜はクリームタイプ

シワを包み込んで密着するクリームタイプの美容液。シワにピタッと密着し、じっくりケア。

医薬部外品
販売名：A L E
ナイトエッセンスa



投資家インフォメーション

株主優待のお知らせ (基準日: 2022年9月30日)

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、当社グループのビジネスを知っていただくことにより、長期的に保有していただくことを目的とした株主優待制度を設けています。



- 単元株(100株)以上保有の株主様
当社ヘルスケア製品 優待価格販売
- 1年以上、単元株(100株)以上保有の株主様
当社フォトブック等プリントサービス利用クーポン券(1,000円分)プレゼント
- 3年以上、500株以上保有の株主様
当社フォトブック等プリントサービス利用クーポン券(4,000円分)プレゼント

※対象の株主様に同封しています。

継続保有に ついて

- 株主名簿上の登録日から割当基準日まで、同一株主番号にて連続して株主名簿に記載されていること。
- 貸株サービス、相続、贈与、株主名簿からの除籍などにより株主番号が変更になった場合、その直後の基準日から起算いたします。
- 株主番号の変更の有無については、株式をお預けの証券会社にお問い合わせください。

IRカレンダー



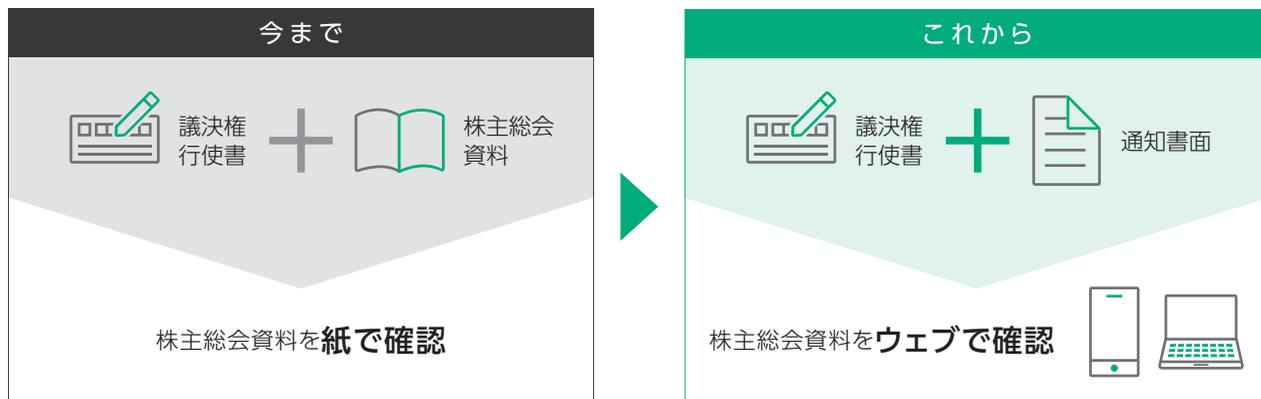
メール配信サービスのご案内

当社の最新情報を電子メールで配信するサービスです。ぜひご登録ください。
ご登録はこちらから <https://www.magicalir.net/4901/mail/index.php>



株主総会資料の電子提供制度のお知らせ

会社法改正により、2023年3月以降の株主総会より、これまで郵送していた株主総会資料(招集ご通知)が原則ウェブでのご提供となります。株主の皆様におかれましては、会社から郵送する通知書面にてご案内するウェブサイトへアクセスすることで、株主総会資料をご確認いただくことができます。



インターネットのご利用が困難な株主様へ

株主総会の基準日(3月末日)までに請求することにより、株主総会資料を書面で受けることができます(「書面交付請求」といいます)。お取引の証券会社または株主名簿代理人である三井住友信託銀行へお申し出ください。

お問合せ先

三井住友信託銀行 証券代行部

電話：0120-533-600 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日および12/31～1/3を除く)

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



FUJIFILM

富士フイルムホールディングス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号
<https://holdings.fujifilm.com>

